

令和6年度「幸区区民アンケート調査」及び 「幸区高校生アンケート調査」の結果をお知らせします

幸区役所では、区政に対する区民の意識を多面的かつ継続的に調査することにより、区民の生活意識や行政に対する意識を明らかにするため「幸区区民アンケート調査」を、また、若い世代の意見を取り入れるため「幸区高校生アンケート調査」を実施しました。

幸区の住みやすさに関する項目では、「とても住みやすい」(22.3%)、「住みやすい」(62.0%)が合わせて8割を超える結果となりました。今後もアンケート結果を踏まえ、区政運営や地域課題解決に向けた取組及び、これからの地域づくりに向けた幸区におけるコミュニティ施策の検討にいかしてまいります。

1 調査の概要

- (1) 調査期間 令和6年9月13日(金)から令和6年9月30日(月)まで
- (2) 調査方法
 - ①区民アンケート:住民基本台帳に基づく無作為抽出(郵送配布、郵送回収またはインターネット回答)
 - ②高校生アンケート:学校での配布、インターネット回答
- (3) 調査対象
 - ①区内在住の18歳以上の個人(外国人含む)2,000人
 - ②幸区内(幸高等学校・川崎総合科学高等学校)に在学の高校2年生471人
- (4) 有効回収数
 - ①866件(有効回収率43.3%)
 - ②246件(有効回収率52.2%)
- (5) 調査結果(主なもの)

【区民アンケート】

※【 】内は前回調査(令和4年度)との比較

ア 幸区の住みやすさ

- ・ 住みやすい(計)(84.3%)【+0.9%】
- ・ 住みにくい(計)(4.5%)【+1.1%】

イ 幸区の良いと感じるところ(複数回答)

- ・ 買い物、病院などの日常生活の利便性(74.0%)【-2.5%】
- ・ 交通の利便性(72.2%)【+0.5%】
- ・ 緑や公園などの自然環境(29.2%)【+0.9%】

ウ 町内会・自治会の活動で参加してみたいこと(複数回答)

- ・ 盆踊りなどお祭り(23.4%)【-1.8%】
- ・ 自主防災組織など防災活動(16.4%)【-0.7%】
- ・ 子ども向けのイベント(15.8%)【+0.4%】

エ 「参加したことがある」もしくは「参加してみたい」市民活動の分野(複数回答)

- ・ 自然や環境を守るための活動(41.4%)【-12.0%】
- ・ 子どもを対象とした活動(32.6%)【-6.8%】
- ・ 安心安全のための活動(32.0%)【+1.2%】

オ 災害に備えて行っていること(複数回答)

- ・ 備蓄品を用意している(65.7%)【-8.5%】
- ・ 地域の避難所を把握している(59.2%)【-2.1%】
- ・ 洪水ハザードマップなどを確認している(45.7%)【新規】

【高校生アンケート】

※【 】内は前回調査(令和4年度)との比較

ア 幸区の良いと感じるところ(複数回答)

- ・ 交通の利便性(32.9%)【+9.6%】
- ・ 緑や公園などの自然環境(24.8%)【-0.2%】
- ・ 買い物、病院などの日常生活の利便性(20.3%)【-10.3%】

イ 幸区の不満に感じる場所(複数回答)

- ・ 治安や風紀(36.2%)【+8.0%】
- ・ 交通の利便性(13.0%)【-3.2%】
- ・ 美化(7.3%)【-0.3%】

ウ 10年後、どのような「まち」に住みたいか

- ・ 防犯、交通安全、安心な暮らしのできるまち(50.4%)【-0.3%】
- ・ 地震や大雨などの災害に強いまち(47.6%)【+4.5%】
- ・ バスなどの交通体系が充実しているまち(32.1%)【+2.2%】

エ ボランティア活動について興味がある分野(複数回答)

- ・ ごみ、清掃、資源などのリサイクル活動(35.8%)【+6.1%】
- ・ 子育てに関する活動(24.4%)【+3.6%】
- ・ 花植えなどの緑化活動(21.1%)【+1.2%】

オ 幸区で実施している中高生のボランティア活動の取組「はぴ☆ボラ」の認知度

- ・ 知っていた(計) (5.3%)【-8.9%】
- ・ 知らなかった(計) (91.9%)【+9.5%】

2 調査結果の公表

アンケート調査の詳細な結果については、幸区役所等で閲覧できるほか、区ホームページで公表します。

川崎市幸区役所まちづくり推進部企画課 塚本
電話 044-556-6607